

大津港活性化・再整備基本構想実施方針の策定について

1 基本構想の概要について

趣旨	完成から 25 年以上経過し老朽化が進展しており、また、社会情勢の変化（にぎわい創出、災害時の役割拡大等）への対応を迫られていることから、長期構想を策定
構想期間	R7 から 20 年間
取組主体	港湾管理者(県)・大津市・地元自治会・民間団体（関係企業・経済団体）等
目指す姿	Re : Port OTSU/BIWAKO 日本一にぎわいのある「湖の港」 暮らす人の日常的利用の豊かさがあり、訪れる人も非日常的な体験を楽しめる状態を目指す
取組方針	官民連携でハード整備・ソフト充実(動線の改善、みなと緑地 PPP、湖上交通、みなとオアシス、花噴水、防災等)

(基本構想イメージパース)

(大津港全体図)



2 実施方針の概要・進め方について

- ・ 向こう 10 年間で取り組む施策(エリア・内容・役割分担等)の具体化を行う
- ・ 多様な民間企業等に対して需要調査・投資意欲調査等を行い、幅広く意見を募る
- ・ 県有施設の現況を調査し、改修費用の概算等を行う
- ・ 基本構想に引き続き、検討会で議論
- ・ 検討会構成団体の担当者レベルでワーキンググループを構成し、個別テーマを都度設定して、詳細な内容を詰める作業を行う

3 第 1 回検討会(5/27)での議論

全体的な視点に係るご意見

- ・ 交流人口を増やし、地域にお金が残る流れを作っていくことが大事
- ・ 飽きられず長続きするには、自然な人の流れを作るのが大切で、そのためには日常的に利用されるものも作っていかないといけない

民間活力導入に係るご意見

- ・ 民間事業者の自由度を高くし、民間の自由な発想を引き出すことが重要
- ・ 環境保全や自然との共生などコンセプトや理念、統一感があるのが望ましい

4 今後のスケジュール（予定）

6～8月頃	ワーキンググループ	動線設計、アクセス向上、イベント振興、みなとオアシス等
9～10月頃	第2回検討会	WG 議論の報告、実施方針取りまとめの方向性確認
11～12月頃	ワーキンググループ	民間活力導入、湖上交通等
1月頃	第3回検討会	WG 議論の報告、実施方針素案への集約
2月頃	ワーキンググループ	最終案の取りまとめに向けた整理
3月頃	第4回検討会	実施方針最終案の検討